

新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）

事業名(主)	
事業名(副)	

入力数 主 0 字 副 0 字

実行団体名	
資金分配団体名	

領域	分野
1) 子ども及び若者の支援に係る活動	①経済的困難など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	④働くことが困難な人への支援
	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	⑥地域の働く場づくりの支援
	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	
------------------------	--

入力数 0 字

SDGsとの関連

ゴール	

実施時期	年 月 ~ 年 月	事業対象地域	全国 特定地域()	事業対象者: (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	事業対象者人数
------	-----------	--------	---------------	---------------------------------------	---------

I. 団体の社会的役割	II. 事業の背景・社会課題
(1) 申請団体の目的	新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題 以下の点に留意してご記入ください。 ・コロナ禍にて深刻化した在留外国人を取り巻く環境の変化や課題（何にフォーカスするのか） ・課題に対する貴団体の現在の取り組みの現状、関係団体との協力・協働の状況 ・申請する事業の必要性、社会的意義
(2) 申請団体の概要・事業内容等	

入力数 (1) 0 字 (2) 0 字 入力数 ## 字

III. 事業内容

(1) 事業の概要	・事業対象（年齢、地域、人数等）をはじめ「5W1H」を念頭に、具体的な事業・活動の概要を記述ください。
-----------	---

入力数 58 字

(2) 事業実施後（1年後）以降に目標とする状態	・本事業を通じて達成したい目標は、具体的に記述ください。
--------------------------	------------------------------

入力数 90 字

(3) 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期

(4) 活動	時期

(5) 事業実施により期待される成果と助成終了後の計画	以下の点に留意して記入ください。 ・事業実施により期待される成果とその発信方法 ・事業終了後の成果の波及と展望 ・継続的な活動を行うための取り組み・計画（財源、人員、協力体制等）
-----------------------------	--

IV. 事業実施体制

(1) 事業実施体制と各職員の役割	・事業担当/分担体制(人員配置や業務分担、担当/分担者の経験など)
(2) 他団体との連携体制	
(3) 想定されるリスクと管理体制	・団体運営における透明性の確保(意思決定、説明責任、情報公開等) ・リスク管理(例:事業担当者等に事故が起こった場合等のバックアップ体制)

V. 関連する主な実績

(1) 休眠預金以外の助成・補助金活用の有無	
新型コロナウイルス感染症に係る事業	
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 無 有の場合その詳細
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）
(2) 申請事業に関連する調査研究、連携の実績	